

交換留学 定期レポート (2024年8月)

タイ キングモンクット工科大学トブリー校 (KMUTT)

総合理工学部建築デザイン学科

大島彩華

## 1,留学前の準備から渡航まで

留学先から入学許可証が発行されたのは KMUTT の授業開始日約 1 か月前でした。そこから学生ビザの発行や渡航準備などを行ったためかなりバタバタしました。留学先とのメールのやり取りやビザ申請など初めての留学手続きはとても大変でした。

7月31日、成田空港発スワンナプーム空港着のタイ国際航空に乗りました。到着後はアプリを使用してタクシーを呼び、アパートへと向かいました。タクシー内からはタイの町並みを見ることが出来て面白かったです。

渡航初日は知らない場所で買い物をする気持ちの余裕はなく、持っていた水とお菓子で耐えしのぎました。



## 2,学生生活

KMUTT の授業は 8 月 5 日から始まりました。日程的に参加することは出来ませんでしたが、留学生オリエンテーションは 7 月末から始まっており、タイ語のクラスや観光のプログラムなどがありました。また、授業開始前に学科の担当教員と受講内容について相談をする機会もありました。

私が通っている学部 SoA+D がある分校はメインキャンパスよりも南に位置しておりメインキャンパスから出ているシャトルバスに乗って行くことができます。メインキャンパ

スに比べると広くはないですが、デザイン系の学科が集まっているため実習室が充実しています。また、廊下などには学生の作品が展示されており構内を散策するのも楽しいです。

タイの大学は授業時間が1コマ3時間程度あり、基本的に授業はすべて英語で行われます。そのため学生たちも英語がペラペラです。授業開始日から1週間は日本と同じように履修登録期間となっており授業の追加や取り消しなどの変更が出来ました。

私はインテリアデザイン系の学科に留学しているため、設計などを含む実習の授業もあります。設計や模型作りがありとても大変ですが、学科の人に色々教えてもらいながら取り組んでいます。

大学ではタイ以外の学生もよく見かけます。私のような交換留学の人もありますが、ミャンマーなど近隣国からの正規留学や編入の学生もかなり多いです。そのため、学生同士のコミュニケーションにも英語が必要になる環境です。

学食は食べるものにもよりますが約180円程度で食べることが出来ます。注文が少し難しいですが優しくそうな人がいる店を選ぶと良いです。



### 3, 日常生活

タイは 1 年を通して温暖な気候です。日差しは基本強いですが、現在は雨期ということもあり湿気もあります。ただ最近日本も暑いので雨期のタイの気候も耐えることが出来ます。雨は一時的に降ることはありますが、しばらくすると止むため今のところ困ったことはありません。道がボコボコなので水たまりはたくさんあります。

学校へ向かうときや都心部へ出かけたいときはバスを利用します。窓なしの小さいバスはたくさん走っておりバス停で待っているとそのうち来ます。降りるときにボタンを押して知らせ、運転手に支払いをするシステムです。8 バーツ (約 34 円) で乗ることが出来ます。スピードがそれなりに出ているので揺れがすごく、窓もないので危ないですが面白いです。

バンコクは渋滞がひどく、車よりもスムーズに動けるバイクは人気なようです。バイクも数多く、スピードも出ているため歩くときは轢かれないうち注意しています。



アパートは留学生がたくさん住んでいます。住人全員が同じ大学に通っているわけではなさそうですが私と同じキャンパスに通っている人も数人います。部屋は 1 人部屋でベッドや机、ソファが付いています。冷蔵庫と電子レンジもあるので便利です。キッチンはないためご飯はコンビニやスーパーで買ったもの、宅配を頼んで食べるのがほとんどです。

水道水を飲むことが出来ないため水はペットボトルのセットを買っています。毎回水の心配をするのは大変ですが慣れてきました。外食は衛生面と体調不良への恐怖心で地元らしい屋台ではあまり食べていません。これから少しずつ開拓していきたいです。また、地域の市場での買い物は安いという話を聞いたのでいつか挑戦したいと思います。

物価はとても安い印象を持っていましたが思っていたよりも普通です。バスや地元の料理の価格は安いですが、タイ料理以外の料理を食べる場合はそれなりの値段がします。

地元の人、特に若者は電子決済を行うことが多いです。小さな屋台にも QR コードがあ

り、バスなど現金を使う機会がありますが電子決済がかなり浸透している印象です。

バンコクを中心街はとても栄えておりデパートの数がすごく多いです。日本人が多く住むエリアもありそこへ行くと日本の食材や本などを買うことが出来ます。また日本人が多く住むエリアには日本語対応の携帯ショップや銀行デスク、病院がありとても助かります。私の住んでいる場所からは少し離れていますが週末に遊びに行くことが出来る距離なので少し安心感があります。

学生や都市部の店員さんは英語でも通じますが、地元の屋台やバスなどでは基本タイ語が必要になります。タイ語はまだまだ分からないので携帯の翻訳機能が手放せません。優しい人も多くたくさん助けてもらいました。



慣れない環境での生活は分からないことばかりで大変ですが、毎日色々なことを学び成長を感じます。授業はついていくのがやっとで毎回緊張感、疲労感がありますが慣れていけるように頑張りたいです。